

専攻科食物栄養専攻教育課程

(令和4年度入学生に適用)

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習の別	単 位 数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数				修了要件		備 考
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		4年制 栄養士 養成課程 注1	専攻科 注2	
						前期 必 選	後期 必 選	前期 必 選	後期 必 選			
専 門 科 目 A 群 【講義科目】	栄養に関する総合的な科目	栄養学特論Ⅰ	講	2	藤 田	2						28 単位以上 28 単位以上
		栄養学特論Ⅱ	講	2	大 森	2						
		栄養学特論Ⅲ	講	2	(歌・清水・田口) 藤田						2	
	人体の仕組みに関する科目	臨床医学Ⅰ	講	2	川 口	2						
		臨床医学Ⅱ	講	2	川 口			2				
		解剖生理学特論	講	2	川 口		2					
		生化学特論	講	2	藤 田				2			
	食物に関する科目	運動生理学特論	講	2	(渡 邊)						2	
		食品学特論Ⅰ	講	2	竹 内	2						
		食品学特論Ⅱ	講	2	竹 内			2				
	臨床栄養に関する科目	調理学特論	講	2	半 田	2						
		臨床栄養学特論Ⅰ	講	2	稗 苗		2					
	公衆栄養に関する科目	臨床栄養学特論Ⅱ	講	2	稗 苗			2				
		公衆栄養学特論	講	2	(加藤久・由田)				2			
	保健衛生に関する科目	健康管理概論	講	2	(龍 波)						2	
		保健衛生学特論Ⅰ	講	2	角 田	2						
	栄養指導に関する科目	保健衛生学特論Ⅱ	講	2	角 田			2				
		食品衛生学特論	講	2	角 田			2				
		栄養教育特論	講	2	高 木	2						
	計	給食管理特論	講	2	太 田						2	
栄養士総合特論Ⅰ		講	2	担当各教員				2				
栄養士総合特論Ⅱ		講	2	担当各教員						2		
計			20	24		10	4	4	10	4	2	2
専 門 科 目 B 群 【演習・実験・実習科目】	栄養に関する演習・実験・実習科目	応用栄養学特別実習	実	1	大 森					3		6 単位以上 6 単位以上 臨地実習：病院 臨地実習：保健所等
		調理学特別実習	実	1	半 田						3	
		臨床栄養学特別実習	実	1	稗 苗			3				
		臨床栄養学学外実習	実	2	稗 苗				※			
		公衆栄養学特別演習	演	1	(加藤久)稗苗					2		
		公衆栄養学学外実習	実	1	稗 苗					※		
		栄養教育特別演習	演	1	高 木				2			
		栄養士総合特別演習	演	1	稗 苗			2				
		特別研究Ⅰ	演	4	専攻科専任教員	4	4					
		特別研究Ⅱ	演	2	専攻科専任教員				2		2	
計		9	6		4	0	9	2	4	3	2	3

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数				修 了 要 件		備 考	
			必 修	選 択		1 学 年		2 学 年		4年制 栄養士 養成課程 注1	専攻科 注2		
						前 期 必 選	後 期 必 選	前 期 必 選	後 期 必 選				
関 連 科 目	臨 床 心 理 学 特 論	講	2		(和 澤)	2					4 単 位 以 上	4 単 位 以 上	
	社 会 福 祉 特 論	講	2		関					2			
	発 達 心 理 学 特 論	講	2		(和 澤)					2			
	情 報 処 理 特 論	演	1		(松村・土田)	2							
	経 営 情 報 特 論	講	2		井 坂				2				
	健 康 科 学 文 献 講 読 I	演	1		望 月	2							
	健 康 科 学 文 献 講 読 II	演	1		(中 山)			2					
計		0	11			0	6	0	2	0	2	0	4
総 計			29	41		14	10	13	14	8	7	4	15

注1 四年制栄養士養成課程の修了要件は、栄養士養成課程での62単位以上を修得し（又は栄養士資格を有する者）、専攻科での62単位を合わせた124単位を修得することが必要である。

注2 専攻科食物栄養専攻の修了要件は専攻科で62単位以上を修得することが必要である。

注3 管理栄養士国家試験受験資格および栄養学学士の取得については「管理栄養士国家試験受験資格と学士（栄養学）の学位取得について」を参照。

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期) 大学等で履修した公衆衛生学、保健衛生学、または類似科目		後継科目	保健衛生学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	保健衛生学特論 ではヒトの集団の健康に関わる要因について講義する。								
学習目標	ヒトの健康維持、増進に栄養が大きく関わっていることから、管理栄養士の仕事が集団の健康を目的とする公衆衛生学にどのように関わっているのか理解する。								
キーワード	栄養、環境、疫学								
テキスト・ 参考書等	イラスト社会・環境と健康 - 公衆衛生学 - 東京教学社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	集団の健康に関連する要因について理解することができる。								
LO-2	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を理解することができる。								
LO-3	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を分析し説明することができる。								
LO-4	世界(WHO等)が注目する公衆衛生問題に関心を持ち、意欲的に学習することができる。								
LO-5	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を理解し、実践につなげていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	50								50
LO-2	10								10
LO-3			15						15
LO-4			15						15
LO-5	10								10
備考	定期試験の素点とレポートを中心に成績評価を行います。レポート提出の際には、理解を深める為に補足説明を行います。講義の中で、公衆衛生上の重要なトピックスについて簡単にディスカッションを行います。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時：4月12日 内容：オリエンテーション、国家試験問題に挑戦	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】国家試験を一部解説 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第2回	日時：4月19日 内容：社会と健康	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第2回_社会と健康 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第3回	日時：4月26日 内容：環境と健康	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第3回_環境と健康 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第4回	日時：5月10日 内容：生活習慣の現状と対策 健康日本21、運動、喫煙 等	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第4回 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第5回	日時：5月17日 内容：生活習慣の現状と対策 飲酒、睡眠、歯科保健活動 等	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第6回	日時：5月24日 内容：疫学 概念、指標、方法	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第7回	日時：5月31日 内容：疫学 スクリーニング、EBM、研究倫理	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第8回	日時：6月7日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 老化 がん	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第9回	日時：6月14日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 循環器疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第10回	日時：6月21日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 代謝疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分

第11回	日時：6月28日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 運動器疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第12回	日時：7月5日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 感染症	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第13回	日時：7月12日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 精神疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第14回	日時：7月19日 内容：主要疾患の疫学と予防対策 その他の疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第15回	日時：7月26日 内容：全15回の振り返り	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期) 大学等で履修した公衆衛生学、保健衛生学、または類似科目		後継科目						
関連科目	情報処理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	保健衛生学特論 では、福祉や医療を含めた各種の保健行政についてテキストを中心に講義形式で進めます。								
学習目標	集団(国民)の健康の維持増進に係わる日本の行政組織について知り、組織の中で管理栄養士が果たす役割を理解することを目標とします。								
キーワード	保健行政 統計								
テキスト・ 参考書等	イラスト社会・環境と健康-公衆衛生学-(東京教学社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	日本の保健行政について理解することができる。								
LO-2	国内で実施されている各種統計調査について理解することができる。								
LO-3	国内で実施されている各種統計調査結果より日本の現状を分析することができる。								
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点は質問等を行い修得に努めることができる。								
LO-5	保健行政において栄養士が果たす役割を理解し、果たす意欲を持てる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60				40				100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	10				10				20
LO-4	10				10				20
LO-5					20				20
備考	基本的に定期試験の素点と成果発表で成績評価を行います。学修姿勢も考慮します(配点は成果発表に含みます)。定期試験では誤問の多い設問には模範解答を示しながら解説します。また成果発表の際にはより深く理解できるよう補足説明をします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時： 内容：オリエンテーション・前期試験の解説 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第2回	日時： 内容：食品保健 持ち物：教科書（イラスト食品の安全性も使用します）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第3回	日時： 内容：保健統計 概要、人口静態統計、人口動態統計 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第4回	日時： 内容：保健統計 生命表 傷病統計 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第5回	日時： 内容：保健・医療・福祉における行政の仕組み 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第6回	日時： 内容：地域保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第7回	日時： 内容：母子保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第8回	日時： 内容：放射線セミナー 持ち物：教科書（イラスト食品の安全性も使用します）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第9回	日時： 内容：成人保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第10回	日時： 内容：高齢者保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分

第11回	日時： 内容：産業保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第12回	日時： 内容：学校保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第13回	日時： 内容：国際保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第14回	日時： 内容：調査発表会（前半） 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第15回	日時： 内容：調査発表会（後半） 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】定期テスト対策を行う。	90分

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	臨床医学II					
関連科目	臨床医学II, 解剖生理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	疾病を理解するため、まず人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 次に疾病の発症機序、疾病がもたらす症状や合併症を学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	臨床医学の学習を通じて疾病の病態に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療								
テキスト・ 参考書等	栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	臨床医学I, II, 解剖生理学特論は、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちに関する連続した講義である。 二冊の教科書と一冊の参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。試験の答案は採点して返却する。 A. 講義中に適宜行う口頭試問に対し、意欲的に回答する姿勢を評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	細胞膜	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第1章の1-4、第2章の図30、第10章の1,2、第11章の5を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」はじめにの2のB、第10章の3,4、第11章の2のB、Dの3)、第14章の3を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の1、第4章の5,6,8、第6章の1-3を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第6章の3のD,4、第10章4のH「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第4章の9を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	加齢・疾患に伴う変化 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第1章の1-3,5、第3章の1,4「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第2章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	加齢・疾患に伴う変化 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第1章の1-3,5、第3章の1,4「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第2章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第7回	加齢・疾患に伴う変化 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第1章の1-3,5、第3章の1,4「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第2章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	栄養障害と代謝疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第9章の2のD,E、第10章の8「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第4章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	栄養障害と代謝疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第9章の2のD,E、第10章の8「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第4章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	栄養障害と代謝疾患 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第9章の2のD,E、第10章の8「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第4章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	栄養障害と代謝疾患 4	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第9章の2のD、E、第10章の8 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第4章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	消化器系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第2章1～4、6のD、E、Gの4) 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第6章2のI を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	消化器系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第6、7章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	消化器系疾患 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第6、7章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	消化器系疾患 4	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第6、7章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学I		後継科目						
関連科目	臨床医学I, 解剖生理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	疾病を理解するため、まず人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 次に疾病の発症機序、疾病がもたらす症状や合併症を学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	臨床医学の学習を通じて疾病の病態に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療								
テキスト・ 参考書等	栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	臨床医学I, II, 解剖生理学特論は、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちに関する連続した講義である。 二冊の教科書と一冊の参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。試験の答案は採点して返却する。 A. 講義中に適宜行う口頭試問に対し、意欲的に回答する姿勢を評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	循環器系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第4章、第11章の4 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	循環器系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第4章、第11章の4 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	循環器系疾患 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第4章、第11章の4 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	循環器系疾患 4	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第4章、第11章の4 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	腎・尿路疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第6章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第9章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	腎・尿路疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第6章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第9章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第7回	内分泌系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第10章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第5章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	内分泌系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第10章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第5章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	血液系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第12章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	血液系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第12章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	免疫・アレルギー系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の2, 4, 表1, 図8、第13章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第15章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	免疫・アレルギー系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の2, 4, 表1, 図8、第13章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第15章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	感染症	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第17章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	呼吸器系疾患 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第5章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第11章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	呼吸器系疾患 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第5章 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第11章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

授業科目名	解剖生理学特論			科目コード	A113-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学I		後継科目						
関連科目	臨床医学I, 臨床医学II								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 人体の恒常性がどのように維持されており、それが破綻した際にどのような疾病を発症するかを学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	人体の構造と機能に関する学習を通じて疾病の発症機序に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療								
テキスト・ 参考書等	栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	臨床医学I, II, 解剖生理学特論は、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちに関する連続した講義である。 二冊の教科書と一冊の参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。試験の答案は採点して返却する。 A. 講義中に適宜行う口頭試問に対し、意欲的に回答する姿勢を評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	神経系と感覚器系 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第11,12章、第14章の1,2 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	神経系と感覚器系 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第11,12章、第14章の1,2 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	神経系と感覚器系 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第11,12章、第14章の1,2 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	神経系と感覚器系 4	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第11,12章、第14章の1,2 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第8章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	運動器系 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第8章、第9章の1,2のA-C、第10章の6 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第13章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	運動器系 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第8章、第9章の1,2のA-C、第10章の6 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第13章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第7回	栄養の消化・吸収・排泄 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第2章の4-6を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	栄養の消化・吸収・排泄 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第2章の4-6を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	代謝と熱産生	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」 はじめにの1のB、第2章の6のE、第9章の2のD,E,3、第10章の8、第14章の3 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	生殖系 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の図8、第4章の7のE、第7章、第10章の4のE,F,9、第13章の4 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第16章 を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	生殖系 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の図8、第4章の7のE、第7章、第10章の4のE、F、9、第13章の4「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第16章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	生殖系 3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学」第3章の図8、第4章の7のE、第7章、第10章の4のE、F、9、第13章の4「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第16章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	疾患の診断と治療 1	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第1章、第3章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	疾患の診断と治療 2	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第1章、第3章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	疾患の診断と治療3	
	【予習】「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学」第1章、第3章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	120分
	【復習】講義中のノートと教科書・レビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸						
実務経験	食品企業に19年間務めており、食品の研究開発を行ってきた。そこで得た食品の知識を生かし、授業の中で解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	(短期)大学等で履修した食品学、または類似科目	後継科目	食品学特論、食品衛生学特論						
関連科目	調理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各食品素材の成分や食品加工の技術や理論等について、管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、グループワークを中心にした主体的な学習方式で進める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。								
キーワード	食品成分、食品化学								
テキスト・ 参考書等	テキスト：管理栄養士国家試験対策完全合格教本、東京アカデミー編、七賢出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。								
LO-5	グループワーク等において積極的に参加し、互いの知識や理解を高め合うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	グループワークに積極的に参加すること。 評価A：食品学への関心・意欲、基本的なコミュニケーション力（返事や応答）、グループワークにおける協調性 毎回：グループワークと小テストを実施								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の説明、人間と食品、米、小麦（前半）について 112-116ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に精白米の栄養特性や小麦粉について理解を深めておく。	90分
第2回	小麦（後半）、とうもろこし、そば、イモ類について 117-120ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に小麦の調理適性や加工品、イモ各種の特徴について理解を深めておく。	90分
第3回	デンプン、砂糖について 121-124ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に大豆の成分、大豆加工食品について理解を深めておく。	90分
第4回	甘味料、豆類について 124-128ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、野菜における調理操作による色の変化、野菜や果実に特徴的に含まれる成分については、理解を深めておく。	90分
第5回	大豆加工食品、種実類、野菜類（前半）について 129-133	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に果実、きのこ類、藻類に含まれる特徴的成分について理解を深めておく。	90分
第6回	野菜類（後半）、果実類について 134-138ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、食肉の熟成、主な食肉の加工食品について理解を深めておく。	90分
第7回	きのこ類、藻類、肉類（前半）について 139-143ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。非常に重要な部分であるので、細部に至るまでよく理解すること。特に魚介類の成分、牛乳の成分について理解を深めておく。	90分
第8回	肉類（後半）、魚介類（前半）について 144-148ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。この単元も非常に重要な部分であるので、細部までよく理解すること。特に、乳の各種加工食品の特徴、卵の成分についての理解を深めておく。	90分
第9回	魚介類（後半）、水産加工品、乳類について 149-153ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、主な食用油脂の特徴や各種甘味料について理解を深めておく。	90分
第10回	卵類について 154-158ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に各種甘味料の特徴について理解を深めておく。	90分

第11回	油脂類、調味料（前半）について 159-163ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、しょうゆの種類、うま味調味料の成分、香辛料の種類、各種アルコール飲料の特徴について理解を深めておく。	90分
第12回	調味料（後半）、香辛料、嗜好飲料について 164-167ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、お茶の種類と製法、2015年度版の食品成分表について理解を深めておく。	90分
第13回	茶類、ゲル形成素材、食品の物性について 168-172ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に食品成分分析表に記載されている成分の分析法については、深く理解しておくこと。	90分
第14回	レオロジーについて 173-175	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、アミノ酸の種類について、深く理解しておくこと。	90分
第15回	復習と総括	
	【予習】これまでのミニテストについて復習をしておくこと	60分
	【復習】ミニテスト以外の重要語句についてよく理解すること	540分

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-22					
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸							
実務経験	食品企業に19年間務めており、食品の研究開発を行ってきた。そこで得た食品の知識を生かし、授業の中で解説する。									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義							
必修・選択	選択	単位数	2単位							
前提科目(知識)	食品学特論、食品衛生学特論	後継科目	栄養士総合特論							
関連科目	調理学特論									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格									
授業の概要	各食品素材の成分や食品加工の技術や理論等について、管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、グループワークを中心にした主体的な学習方式で進める。									
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。									
キーワード	食品素材、食品加工技術									
テキスト・ 参考書等	テキスト：管理栄養士国家試験対策完全合格教本、東京アカデミー編、七賢出版（食品学特論と同じ） 参考書：学科の食品学総論で使用したテキスト									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果									
LO-1	各食品素材や食品加工法を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。									
LO-2										
LO-3										
LO-4	各食品素材や食品加工法の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。									
LO-5	グループワーク等において積極的に参加し、互いの知識や理解を高め合うことができる。									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計	
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C		
総合評価(割合)	80					20			100	
LO-1	80								80	
LO-2										
LO-3										
LO-4						10			10	
LO-5						10			10	
備考	グループワークに積極的に参加すること。 評価A：食品学への関心・意欲、基本的なコミュニケーション力（返事や応答）、グループワークにおける協調性 毎回：グループワークと小テストを実施									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	178-181ページ 授業の説明、タンパク質の構造、単糖	
	【予習】シラバスおよびテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にたんぱく質の構造の違い、単糖の名称について理解を深めておく。	90分
第2回	182-185ページ 二糖類、多糖類、脂質の分類	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。二糖類の種類、多糖類の種類について理解を深めておく。	90分
第3回	186-189ページ 脂肪酸、油脂の分析値、脂溶性ビタミンについて	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に脂肪酸の種類、分析値の種類、脂溶性ビタミンの化学名、生理作用および供給源について理解を深めておく。	90分
第4回	190-193ページ 水溶性ビタミン、ミネラルについて	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、ビタミンのBとC、カルシウム、ナトリウムについては、理解を深めておく。	90分
第5回	194-197ページ ミネラル（後半）、水分、色素（前半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にカリウム、鉄、水分と保存性との関連について理解を深めておく。	90分
第6回	198-201ページ 色素成分（後半）、呈味成分（前半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、カロテノイド系やアントシアニン系の色素の種類、クロロフィルの変化、甘味成分について理解を深めておく。	90分
第7回	202-204ページ 呈味成分（後半）、香り成分について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にうま味成分の種類、主な香り成分について理解を深めておく。	90分
第8回	244-247ページ 食品表示法、食品表示基準、栄養強調表示、遺伝子組換え食品表示について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。この範囲は、重要なので、細かい点を含めて法令の内容等を十分に理解を深めておく。	90分
第9回	248-251ページ アレルギー表示、期限表示、JAS、保健機能食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、アレルギー表示について理解を深めておく。	90分
第10回	252-255ページ 特別用途食品、特定保健用食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。この範囲は、重要なので、細かい点を含めて法令の内容等を十分に理解を深めておく。	90分

第11回	256-259ページ 栄養機能性食品、機能性表示食品、強調表示について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、栄養機能性食品の機能性の内容、機能性表示食品と特定保健用食品との違いについて理解を深めておく。	90分
第12回	262-265ページ 食品の加工法について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、各種の食品加工法の特徴、食品加工で用いられる主な酵素について理解を深めておく。	90分
第13回	266-269ページ 食品成分の酸化反応、加熱による成分変化、酵素による成分変化（前半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、脂質の酸化反応、でん粉の糊化と老化、酵素的褐変反応については、深く理解しておくこと。	90分
第14回	270-273ページ 酵素による成分変化（後半）、非酵素的褐変反応、食品の流通について	
	【予習】前半7回までのについて見直しておくこと。	150分
	【復習】該当範囲について、重要キーワードについて確認する。特に、非酵素的褐変反応についてよく理解しておくこと。定期試験に備えて、これまで学んだ内容について各自で纏めておくこと。	150分
第15回	274-279ページ 食品の保存方法、容器包装、容器包装リサイクル法について	
	【予習】該当範囲について、重要キーワードについて確認する。	150分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、各種の食品の保存法については、よく理解しておくこと。定期テストに向けて、重要語句と重要事項について理解し、必要事項を覚えておくこと。	300分

授業科目名	食品衛生学特論			科目コード	A115-30				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	角田 香澄						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	食品衛生学	後継科目	食品学特論						
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験科目								
授業の概要	食品が生産され人に食されるまでに発生する問題点として、食中毒を引き起こす細菌の汚染などがある。このような事態の発生を可能な限り予防する為に必要な知識を学ぶ。								
学習目標	食品衛生と食品衛生関連法規について理解する。将来食品関連の仕事に従事する場合はもちろん健全な食生活を維持していくにも重要な内容である。								
キーワード	食中毒 HACCP 食品添加物								
テキスト・ 参考書等	「食品の安全性」小塚論編 東京教学社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食の安全性に関与する要因(微生物や化学物質)について理解している。								
LO-2	食品の劣化を測定する方法(K値、揮発性有機化合物、AV等)の原理を理解している。								
LO-3	各種食中毒菌の生態を踏まえて、食中毒の予防方法を提案できる。								
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点は質問等を行い修得に努めることができる。								
LO-5	管理栄養士として相手の立場に立ち食の安全性に関する知識をわかりやすく説明することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80	20							100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4		20							20
LO-5	20								20
備考	基本的に定期試験の素点で成績評価を行います。時々行う小テスト結果や学修姿勢も考慮します(配点は小テストに含みません)。定期試験では誤問の多い設問には模範解答を示しながら解説します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時： 内容：オリエンテーション・微生物とは 持ち物：教科書	
	【予習】なし	0分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第2回	日時： 内容：細菌の構造と増殖する条件 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】	120分
第3回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（サルモネラ菌・カンピロバクター） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第4回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（病原大腸菌・ウェルシュ菌） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第5回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（ブドウ球菌・ボツリヌス菌） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読み直す。	120分
第6回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 ウィルス性食中毒 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第7回	日時： 内容：自然毒食中毒（植物性自然毒） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第8回	日時： 内容：自然毒食中毒（動物性自然毒） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第9回	日時： 内容：寄生虫等 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第10回	日時： 内容：食品中の汚染物質 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分

第11回	日時： 内容：食品の容器および包装 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第12回	日時： 内容：食品添加物 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第13回	日時： 内容：HACCP等 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第14回	日時： 内容：食品衛生行政 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第15回	日時： 内容：まとめ、定期試験対策 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	190分
	【復習】要点を確認・整理して試験準備をすすめる。	200分

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-20				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	藤田 恭輔					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	短期大学等で履修した生化学、栄養学、または類似科目。		後継科目	生化学特論					
関連科目	栄養学特論、解剖生理学特論、臨床医学、運動生理学特論、食品学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	管理栄養士に求められる基礎栄養学の知識を深めるため、栄養とは何かについてヒトの体のしくみの観点から解説する。要所で主体的に栄養について思案してもらいながら講義を進めていく。								
学習目標	管理栄養士国家試験に必要な基礎栄養学の知識をつけるとともに、その知識を表現する力を身につける。								
キーワード	栄養、摂食調節、消化吸収、五大栄養素、エネルギー代謝								
テキスト・ 参考書等	参考書：栄養科学イラストレイテッド「基礎栄養学 第4版」 田地陽一編 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	基礎栄養学の知識を適切に表現する力がある。								
LO-4	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		15			5			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			15			5			20
LO-5									
備考	A. 講義の中で行う口頭試問に対し、意欲的に回答する姿勢を評価する。 課題には、コメントを付けて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	栄養学の学びを深めるにあたって	
	【予習】学科等で学んだ栄養学の内容を復習する	60分
	【復習】授業の内容を復習する。	120分
第2回	栄養とは？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第3回	なぜ食べる？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第4回	食べたものはどのように消化される？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
課題はこちら（5/17まで）		
第5回	栄養素のゆくすえ	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第6回	エネルギー源となる糖質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第7回	体内での糖質のコントロール・食物繊維のはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第8回	いろいろな脂質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第9回	体内での脂質の利用・脂質の質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第10回	たんぱく質とアミノ酸の代謝	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分

第11回	たんぱく質の栄養価	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第12回	ビタミンのはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第13回	ミネラルのはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第14回	体内の水分	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第15回	エネルギー代謝	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-22				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論		後継科目	栄養学特論、応用栄養学特別実習、臨床栄養学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	妊娠期、授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期の各ライフステージの生活習慣、運動時や特殊環境下での身体変化やその栄養摂取法について深く学ぶ。								
学習目標	各ライフステージの心身の特徴を深く理解し、健康を維持増進できるような栄養摂取法を修得する。								
キーワード	ライフステージ 健康維持増進 食事摂取基準								
テキスト・ 参考書等	栢下 淳、上西 一弘 応用栄養学（栄養科学イラストレイテッド） 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	各ライフステージの心身の特徴を理解し、健康を維持増進できるような栄養摂取法や栄養アセスメントについて修得する。								
LO-2	(該当せず)								
LO-3	(該当せず)								
LO-4	知識を積極的に修得しようとする意欲をもつ。								
LO-5	(該当せず)								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	90								90
LO-2									
LO-3									
LO-4	10								10
LO-5									
備考	期末試験あり 試験については、要望があった場合のみ答案をみせる。 右記のアクティブラーニングを単元ごとに実施します：ミニテスト								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」授業方針の説明 栄養ケア・マネジメント（概念、スクリーニング、アセスメント）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】栄養ケア・マネジメント（概念、スクリーニング、アセスメント）について理解を深める。	120分
第2回	栄養ケア・マネジメント（栄養ケア計画の実施、モニタリング、評価、フィードバック）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】栄養ケア・マネジメント（栄養ケア計画の実施、モニタリング、評価、フィードバック）について理解を深める。	120分
第3回	妊娠期、授乳期（生理的特徴、妊娠期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】妊娠期、授乳期（生理的特徴、妊娠期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解を深める。	120分
第4回	妊娠期、授乳期（問題点と対策、授乳期・産褥期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】妊娠期、授乳期（問題点と対策、授乳期・産褥期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解を深める。	120分
第5回	成長、発達、加齢について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】成長、発達、加齢について理解を深める。	120分
第6回	新生児期、乳児期について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】新生児期、乳児期について理解を深める。	120分
第7回	成長期（幼児期、学童期、思春期）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】成長期（幼児期、学童期、思春期）について理解を深める。	120分
第8回	成人期について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】覚えておこう 次回ミニ試験	120分
第9回	高齢期について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】高齢期について理解を深める。	120分
第10回	運動・スポーツと栄養について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】運動・スポーツと栄養について理解を深める。	120分

第11回	環境と栄養について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】環境と栄養について理解を深める。	120分
第12回	環境と栄養について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】環境と栄養について理解を深める。	120分
第13回	食事摂取基準について（意義、策定の総論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（意義、策定の総論）理解を深める。	120分
第14回	食事摂取基準について（策定における基本的留意事項、活用の基礎理論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（策定における基本的留意事項、活用の基礎理論）理解を深める。	120分
第15回	食事摂取基準について（活用の各論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（活用の各論）理解を深める。	120分

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-41				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験	富山県職員として富山県立中央病院では26年余勤務し、給食管理、栄養管理・栄養指導を行った。また、NST（栄養サポートチーム）や日本糖尿病療養指導士等の業務経験を生かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論、食品学特論、解剖生理学特論など前期に履修したことを復習し、同時進行の病理学特		後継科目						
関連科目	臨床栄養学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	病院における栄養ケアマネジメントのシステム構築運営の必要性を学び、管理栄養士の業務は傷病者個々の栄養評価に基づいた適切な栄養管理を求められていることを認識する。また管理栄養士の専門的知識及び技術の研鑽により医療スタッフと共通の知識・経験を学習でき、栄養ケアマネジメントの推進に必要なチーム医療は更に効率のよい医療を提供できることとなることを学ぶ。								
学習目標	病院における栄養士の業務のあり方について学ぶ。患者の病態を把握するための各種アセスメントの方法と評価、栄養治療計画や治療食の作成、栄養指導のあり方、栄養管理や評価など栄養業務のできる能力を養う。								
キーワード	栄養ケア 栄養アセスメント 栄養管理計画 栄養補給 モニタリング 評価								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人 「エッセンシャル臨床栄養学 第8版」佐藤和人他編 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：臨床において栄養ケア・マネージメントを行うため、専門知識を習得していること。								
LO-2	技能：身体計測等の視点と活用の技術力も持つ								
LO-3	思考力・判断力・表現力：栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、推進していくことができること。								
LO-4	関心・意欲・態度：栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5	人間性・社会性：治療食を患者の立場で考え伝えようとする力・姿勢								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	30								30
LO-2	5					5			10
LO-3	30					5			35
LO-4	10					5			15
LO-5	5					5			10
備考	定期試験（80％）、その他平常点（20％）とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度等の結果を含む。栄養管理のためのアクティブラーニングを行う。誤答の多い設問は解説をする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	/ オリエンテーション 臨床栄養管理の意義、臨床栄養マネジメント 診療報酬 福祉・介護と臨床栄養 予想問題を解くP.23～24	
	【予習】エッセンシャルp.351～370を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】診療報酬に関する基本的な考え、加算算定に関わる事項を理解し覚えること。	90分
第2回	/ 栄養士実力認定試験の過去問等を解いてみましょう 栄養ケア記録 栄養アセスメント	
	【予習】エッセンシャルP.369～383 エキスパートP.25～31を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】POSの構成を理解し、経過記録をSORPで記載すべき事柄について整理する。栄養アセスメント指標の理解を深める。 栄養士実力認定試験過去問等の解答です	90分
第3回	/ 栄養スクリーニング 栄養アセスメントの実際	
	【予習】エキスパートP.33～51を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養アセスメント、エネルギー、たんぱく質の必要量の求め方、アセスメント指標でわかる事柄について整理し理解を深める。問診の記載方法を理解する。	90分
第4回	/ 身体計測データの評価 栄養管理 食事記録と聞き取り	
	【予習】エキスパートP.51～74を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測のためのポイントと手法を理解し、アセスメントでわかる事柄をまとめる。 食事聞き取りの手法を振り返る。	90分
第5回	/ 栄養必要量の算定 身体計測データの評価、栄養管理	
	【予習】エキスパートP.74～84を読みわからない語句を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測の判定基準を整理し理解を深める。 エネルギー量、たんぱく質、水分量の把握。	90分
第6回	/ 臨床検査：検査値から読み取ることができること	
	【予習】エッセンシャルP.449～468 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養状態の指標の読み方について理解を深める。	90分
第7回	/ 食事調査 記録、アドバイスと献立提供について 聞き取り方 エネルギー必要量 たんぱく質必要量	
	【予習】エキスパートP.69～78 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】食事調査法の種類と特徴を整理する。栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第8回	/ 予想問題P.85～87 ミニテスト	
	【予習】エキスパートp.78～84を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第9回	12月1日 栄養ケア計画 栄養・食事療法 エキスパートP.89～124 エッセンシャル399～407	
	【予習】エッセンシャルP.399～407 を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.89～124	60分
	【復習】栄養補給、栄養教育、多職種と関わりからのケア計画について理解を深める。栄養補給法の選択方法をまとめる。	90分
第10回	/ 栄養・食事療法 栄養補給法 静脈栄養・経腸栄養の栄養管理	
	【予習】エッセンシャルP.417～434 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】病人食、療養食をまとめ栄養補給法の理解を深める。	90分

第11回	/ 傷病者の栄養教育 予想問題P.138を解く	
	【予習】エッセンシャルP.435～440、エキスパートP.127～137 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養教育の流れと方法について整理し、理解を深める。	90分
第12回	/ モニタリング・再評価 エキスパートP.139～143 エッセンシャル413～416	
	【予習】エッセンシャルP.413～416を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.139～143	60分
	【復習】各種評価指標を整理する。	90分
第13回	/ 誤嚥予防の口腔ケア 薬と栄養・食物の相互作用 エキスパートP.145～159 エッセンシャル441～447	
	【予習】エッセンシャルP.441～447 を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.145～159	60分
	【復習】口腔ケアの重要性と手法を理解する。相互作用をまとめ、理解する。	180分
第14回	1月12日 多職種協働 栄養管理 在宅栄養ケア・マネジメント まとめ エキスパートP.175～183	
	【予習】エキスパートP.175～183 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】記録から読み取る視点を整理する。医療保険と介護保険による訪問栄養指導の違いを整理し理解を深める。	180分
第15回	/ 症例から流れを復習する。身体計測方法、データの読み取り、栄養管理計画、モニタリング、退院時サマリーと連携等 症例	
	【予習】授業で学んだことを整理しておく。エキスパートP.185～195	360分
	【復習】自身が不足していたと感じる部分の理解を深める。	60分

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-43				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験	富山県職員として富山県立中央病院では26年余勤務し、給食管理、栄養管理・栄養指導を行った。また、NST（栄養サポートチーム）や日本糖尿病療養指導士等の業務経験を生かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	解剖生理学特論など前期に履修したことを復習し、同時進行の病理学特論等と関連付けておく。		後継科目	臨床栄養学特別実習					
関連科目	臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各疾病と栄養ケアの概念を理解する。その上で栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養食事計画の技法を学ぶ。								
学習目標	疾病者に対し病態や栄養状態に基づいた適切な栄養管理を行うための基礎知識と臨床における栄養法および食事食事計画の技法を修得する。								
キーワード	診断基準・ガイドライン 病態生理 病態栄養アセスメント・栄養管理計画・栄養食事療法の基本・栄養食事指導・モニタリングと評価								
テキスト・ 参考書等	「エッセンシャル臨床栄養学 第8版」佐藤和人他編 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得していること。								
LO-2	技能：栄養士としての基本的な技能								
LO-3	思考力・判断力・表現力：病態、栄養状態のアセスメントから、適切な栄養管理計画の立案ができること。								
LO-4	関心・意欲・態度：病態を理解し、適切な栄養管理を検討する想像力を持つこと。								
LO-5	人間性・社会性：医療の進歩に伴う、新たな臨床栄養学について、常に学ぼうとする姿勢。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	40								40
LO-2						5			5
LO-3	30					5			35
LO-4	10					5			15
LO-5						5			5
備考	全15回のうち3回を集中講義で行うが、集中講義の実施時期と内容は変更することがある。定期試験(80%)、平常点(20%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度(ディスカッションへの参加)等の結果を含む。知識の充実に狙いとする授業で、問いかけ、解答を得ながらのアクティブラーニングを行う。誤答の多い設問は解説をする								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	/ オリエンテーション 授業構成 臨床栄養で患者支援を行う際の視点	
	【予習】エッセンシャルp.335～350を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臨床栄養学の意義や目的、管理栄養士の役割、職業倫理等についてまとめ、理解を深める。	120分
第2回	/ 栄養療法 空腹中枢・満腹中枢等 脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム	
	【予習】栄養士養成校時に習った栄養療法の基本を復習しておく。エッセンシャルP.65～101	60分
	【復習】臓器の機能、疾患について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第3回	/ 病態生理と栄養食事療法（糖尿病）	
	【予習】教科書81～101頁を読み、わからない語句等を調べておく	60分
	【復習】臓器の機能、疾患について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第4回	/ 病態生理と栄養食事療法（循環器）	
	【予習】教科書103～132頁を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第5回	/ 病態生理と栄養食事療法（循環器）	
	【予習】教科書119～132頁を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第6回	/ 病態生理と栄養食事療法（呼吸器）	
	【予習】教科書p.133-178を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第7回	/ 病態生理と栄養食事療法（腎臓）	
	【予習】教科書p.143-178を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第8回	/ 病態生理と栄養食事療法（腎臓）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第9回	/ 病態生理と栄養食事療法（消化器・胃）	
	【予習】教科書p3-36を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第10回	/ 病態生理と栄養食事療法（消化器・胃）	
	【予習】教科書p.37-51を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分

第11回	/ 病態生理と栄養食事療法（肝・胆・膵）	
	【予習】教科書 p 179～206を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第12回	/ 病態生理と栄養食事療法（肝・胆・膵）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】各組織の役割と病態、栄養素の関連の理解を深める。	120分
第13回	/ 小児・高齢期・アレルギー	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておく。	60分
	【復習】各組織と病態の関連を整理し、理解を深める。	120分
第14回	/ 病態生理と栄養食事療法（感染症、骨、歯、外科）	
	【予習】教科書361～370、395～411頁を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】病態の栄養管理のポイントを押さえる。	120分
第15回	/ 福祉・介護と臨床栄養、栄養診断、モニタリング、評価、栄養補給法、栄養教育、食物と薬剤の相互作用	
	【予習】教科書413～447頁を読み、わからない語句等を調べておくこと。	120分
	【復習】疾患について、栄養指標から病態を推測し、栄養診断を行って、栄養計画を策定できるように理解を深める。	60分

授業科目名	臨床栄養学特別実習			科目コード	A131-45				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験	富山県職員として富山県立中央病院では26年余勤務し、給食管理、栄養管理・栄養指導を行った。また、NST（栄養サポートチーム）や日本糖尿病療養指導士等の業務経験を生かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	病態に適応した栄養管理計画に基づき、適切な料理方法を理解し、献立作成や調理に臨むこと。		後継科目	臨床栄養学学外実習（臨地実習）					
関連科目	臨床栄養学特論 臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給、栄養・食事計画の技術を学び、調理、供食を通して学ぶ。 疾病のケアプランを作成する。 献立の立案および食材の発注と購入。 調理実習 実習評価及びレポート提出等を評価に加える。								
学習目標	栄養療法、食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養・食事計画の技術を学び、調理と供食を通して理解する。また、おいしく治療効果の上がる治療食の作成ができる能力を習得する。								
キーワード	ケアプラン 献立作成 調理 指導								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学実習」芳本信子編集 学建書院 「糖尿病の食品交換表」、「腎臓病の食品交換表」、その他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力を習得していること。								
LO-2	技能：栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を習得していること。								
LO-3	思考力・判断力・表現力：病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事・献立等の計画が立案できること。								
LO-4	関心・意欲・態度「：個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5	人間性・社会性：対象者にあわせて、より良い食事提供の手法を考える力を持つ。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10	10		10			100
LO-1	20		5			5			30
LO-2	20			5					25
LO-3	15		5	5					25
LO-4	10								10
LO-5	5					5			10
備考	試験（70％）、作成献立及び調理完成の評価（10％）、レポート（思考・気づき・学び等）（10％）、平常点（10％）とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・実習態度、材料の発注や準備、また片付け等への参加状況を含む。調理実習前には栄養素等計算した予定献立を提出し、充実した実習につなげるとともに、実習後には実習献立を含むレポートを提出すること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	/ オリエンテーション（専攻科で学ぶ臨床栄養学の流れ） 臨床栄養の基礎、一般治療食の基礎	
	【予習】教科書p.2～43を読み、栄養管理の基礎知識を予習（栄養士資格取得時の学びの復習を兼ねる）をする。 食品重量、献立作成の基本、味付けの確認。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。 次回、調理実習では実務経験で学んだ料理のポイントを押さえて1品調理ができるように計画し、発注する。	30分
第2回	/ 調理実習＜栄養士実務経験で得た技術に基づく自主課題について＞ 紹介する調理のポイントとコツ、喫食者の満足度はどうか等を伝える。	
	【予習】自主献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。 調理のコツやポイントを説明するために準備を行う。	30分
	【復習】調理実習で学んだこと、他の作品等から得た事柄を整理し、レポートにまとめる。 クラスメートの料理について気づいたこと、学んだことをまとめる。 参考 実習写真	30分
第3回	/ 特別治療食の基礎 - 栄養成分管理治療食 - エネルギーコントロール食のケアプラン・献立作成 糖尿病食品交換表を用いて、献立作成を行うとともに、成分表で栄養計算を行う。	
	【予習】教科書p.46～61を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。 自分の食事を3日間記録して持参する。記録用紙他：	30分
	【復習】食品交換表の理解を深める。 自身の3日分の食事を記録を食品交換表を用いて計算する。	30分
第4回	/ エネルギーコントロール食のケアプラン・献立作成 各自作成した献立表の栄養計算確認。3日分の食事計算で分からなかったこと、学んだこと、気づいたこと。Q&A	
	【予習】糖尿病食品交換表を用いて栄養計算を行う。 各自の3日分の食事記録を食品交換表で計算する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第5回	/ 調理実習＜エネルギーコントロール食＞班員の献立を実施献立に実習する。	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他の作品等から得た事柄を整理する。 実習についてまとめてみましょう	30分
第6回	/ エネルギーコントロール食＋塩分管理食のケアプラン・献立作成、＜脂質異常症・心不全・高血圧症＞ 動脈硬化を予防するための食事とその対策を考え、病態に即した献立に展開する。	
	【予習】教科書p.62～70、117～133を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第7回	/ 食塩制限食のポイント等	
	【予習】教科書を読んで理解を深める	30分
	【復習】献立の確認を行い、適切に発注する	30分
第8回	/ 調理実習＜エネルギーコントロール食＋塩分管理食＞動脈硬化を予防するための工夫を献立に活かし、実習し、味等を確認しより満足度の高い献立に展開する工夫を探る。	
	【予習】教科書p.134～147、および腎臓病食品交換表を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】調理実習を振り返ってレポート作成 目的を達成する内容であったか、訂正する場合はどのようにしたらよいか等	30分
第9回	/ たんぱく質コントロール食のケアプラン 腎臓病食品交換表、計算機を持参する。	
	【予習】教科書p.133～146、および腎臓病食品交換表を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】調理実習に向けて、調理方法、手順等を明らかにしておく	30分
第10回	/ 調理実習＜たんぱく質コントロール食・腎臓病食＞調理のポイント押さえながら着実に調理を完成させる。 また、特殊用途食品について学びを深める。	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他の作品等から得た事柄を整理する。	30分

第11回	/ 脂質コントロール食のケアプラン・献立作成（消化器疾患）	
	【予習】教科書p110～116を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第12回	/ 調理実習＜脂質コントロール食＞	
	【予習】慢性膵炎の献立を完成させる。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他の作品等から得た事柄を整理する。	30分
第13回	/ 15回を行う病態に即した料理紹介のためのレシピ考案。1人1品以上、キュービー3分クッキングの要領で。 下ごしらえの時間30分、1人10分以内。時間が無いので、場合によっては差し替えを準備することも考え、来週発注できるようにしてください。	
	【予習】教科書p76～116を読み、栄養管理の基礎知識の復習及び、P20～43を復習し、適切な栄養補給法を考えることができるようにする。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第14回	/ 病態栄養指導における調理実習計画策定、一連献立の確認。 次回調理実習に向けて、調理紹介の準備を行う。	
	【予習】栄養ケアプランや調理の基本の伝え方について予習する。	30分
	【復習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	60分
第15回	/ 調理実習＜自主テーマ＞15分で作る、病態の回復・維持等に向けた料理	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入する。調理担当の役割分担を明らかにし、調理のポイントや調理手順等で伝達すべき内容を整理しておく。	120分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他の作品等から得た事柄を整理する。	120分

授業科目名	臨床栄養学学外実習（臨地実習：病院）			科目コード	A131-47				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習は臨床栄養学特論の授業を終えた後期末試験終了後に行う。事前学習：臨床栄養の知識・技		後継科目						
関連科目	臨床栄養学他管理栄養士養成のための全既取得科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	臨地実習先指導者のもとで、2週間（10日間）実際の医療機関等の施設の栄養管理方法の実際を学ぶ。また、各自の課題（テーマ）について実際の場でどのように問題を解決すればよいか考え、レポートにまとめる。後日、発表会を行う。新型コロナウイルスの影響等によって実習内容が限られる場合がある。								
学習目標	実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する。								
キーワード	臨床栄養学 栄養管理 食事療養								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人「エッセンシャル臨床栄養学 第8版」佐藤和人他編 医歯薬出版 その他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	技能：栄養計画を様々な形で実践する力があること。								
LO-3	思考力・判断力・表現力：栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できること。								
LO-4	関心・意欲・態度：実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができること。								
LO-5	人間性・社会性：臨床の場におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自身の健康管理に気をつけて、意欲的に学ぶこと。 実習態度（実習施設評価を含む）、実習レポート、課題発表を、総合的に評価する。 レポートにはコメントをつけて返却する。学外実習であり栄養管理のためのアクティブラーニングを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前指導 第1回目 臨地実習の概要説明 実習ノート、実習課題内容を設定する。	
	【予習】実習施設のホームページや資料を確認する。事前打ち合わせの日程確認等を行う。	90分
	【復習】臨地実習で必要と考えられる資料、データ、基準等を整理する。	90分
第2回	事前指導 第2回目 臨地実習施設で日程等や資料と、実習課題についての事前学習等必要な事項の確認。また、実習先でのマナーも確認する。	
	【予習】実習施設へ交通経路も含め、安全な通勤の確認。課題を掘り下げて何を知りたいのか具体的な事柄を記述する。	90分
	【復習】事前打ち合わせで提供された資料や課題について見直す。自身の課題について指摘されたことの内容を検討。	90分
第3回	実習施設での臨地実習1日目 施設でのオリエンテーションと施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習1日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第4回	実習施設での臨地実習2日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習2日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第5回	実習施設での臨地実習3日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習3日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第6回	実習施設での臨地実習4日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習4日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第7回	実習施設での臨地実習5日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習5日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第8回	実習施設での臨地実習6日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習6日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第9回	実習施設での臨地実習7日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習7日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第10回	実習施設での臨地実習8日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習8日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分

第11回	実習施設での臨地実習9日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習9日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第12回	実習施設での臨地実習10日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習10日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題についてまとめ、実習最終日に確認をしていただけるように準備する。また、実習ノートをまとめて実習指導担当者に提出ができるようにしておく。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。指導担当者からのアドバイスをもとに、管理栄養士業務を確認する。自身の課題についても整理する。	60分
第13回	事後指導 第1回目 実習のまとめ 実習報告会用資料作成 実習報告書冊子作成	
	【予習】資料を整理。	90分
	【復習】報告会のパワーポイントの要点をまとめる。	90分
第14回	事後指導 第2回目 パワーポイント作成	
	【予習】報告会のパワーポイントの要点・資料の確認。	90分
	【復習】パワーポイント、原稿等の確認。	90分
第15回	事後指導 第3回目 実習報告会 質疑 講評	
	【予習】発表内容、原稿の練習、確認。	90分
	【復習】実習で学んだ内容から管理栄養士業務を振り返り、今後の学習で補う必要のある知識技術を確認し、その充実に努める。	90分

授業科目名	栄養教育特論			科目コード	A133-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	高木 尚紘					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養指導論		後継科目	栄養教育特別演習					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育に必要とされる技法等, 栄養教育に必要な知識を学習する.								
学習目標	健康的な生活習慣を形成するために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる実力を身につける。								
キーワード	栄養教育 行動科学理論 栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	武見ゆかりら「栄養教育論改定第5版」 医歯薬出版、日本栄養士会 編 「管理栄養士栄養士必携2022」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを十分に理解している。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】自ら進んで学ぶ積極的な学習態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	90								90
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5									
備考	A:授業への参加姿勢で評価、遅刻や欠席等で減点します								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養教育特論について	
	【予習】シラバスを把握する	60分
	【復習】第1回目の内容を確認する	90分
第2回	行動科学理論とモデル 行動科学理論について	
	【予習】第2回目の内容について把握する	60分
	【復習】第2回目の内容について確認する	90分
第3回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第3回目の内容について把握する	60分
	【復習】第3回目の内容について確認する	90分
第4回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第4回目の内容について把握する	60分
	【復習】第4回目の内容について確認する	90分
第5回	栄養教育マネジメント 実態把握	
	【予習】第5回目の内容について把握する	60分
	【復習】第5回目の内容について確認する	90分
第6回	栄養教育マネジメント プランニング	
	【予習】第6回目の内容について把握する	60分
	【復習】第6回目の内容について確認する	90分
第7回	栄養教育マネジメント 評価について	
	【予習】第7回目の内容について把握する	60分
	【復習】第7回目の内容について確認する	90分
第8回	健康教育について	
	【予習】第8回目の内容について把握する	60分
	【復習】第8回目の内容について確認する	90分
第9回	栄養カウンセリング	
	【予習】第9回目の内容について把握する	60分
	【復習】第9回目の内容について確認する	90分
第10回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 施策について	
	【予習】第10回目の内容について把握する	60分
	【復習】第10回目の内容について確認する	90分

第11回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 法律について	
	【予習】第11回目の内容について把握する	60分
	【復習】第11回目の内容について確認する	90分
第12回	ライフステージ毎の栄養教育 妊娠期、乳・幼児期	
	【予習】第12回目の内容について把握する	60分
	【復習】第12回目の内容について確認する	90分
第13回	ライフステージ毎の栄養教育 学童期、思春期	
	【予習】第13回目の内容について把握する	60分
	【復習】第13回目の内容について確認する	90分
第14回	ライフステージ毎の栄養教育 成人期、高齢期	
	【予習】第14回目の内容について把握する	60分
	【復習】第14回目の内容について確認する	90分
第15回	栄養教育のまとめ	
	【予習】第15回目の内容について把握する	60分
	【復習】第15回目の内容について確認する	90分

授業科目名	栄養教育特別演習			科目コード	A133-12				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	高木 尚紘					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	栄養教育特論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育特論 の内容を踏まえ、より実践的な技術や知識を身につける。								
学習目標	健康的な生活習慣を形成するために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる実力を身につける。								
キーワード	栄養教育 行動科学理論 栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	テキストは前期と同じものを使用。他、必要に応じて各自で図書館等から借りるようにしてください。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントにいかすことができる。								
LO-2	【技術・実践力】これまでの栄養指教育に関する学習内容を実習に生かすことができる								
LO-3	【思考・判断力】これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーをサポートできる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			40						40
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4			30						30
LO-5									
備考	<p>模擬栄養指導実施ごとにグループ単位で評価 (LO-1-3)</p> <p>その他、質疑応答など授業への積極性を適宜評価する(LO-4)</p> <p>右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：プレゼンテーション、ディスカッション</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【内容】 授業のオリエンテーション	
	【予習】シラバスを把握し、担当回のレジュメを作成して、模擬栄養教育前日までに余裕をもってプリントアウトしたものを提出してください NEW レジュメ	30分
	【復習】第1回目の内容を確認する	60分
第2回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第2回目の内容について把握する	30分
	【復習】第2回目の内容について確認する	60分
第3回	【内容】 テーマ 肥満、糖尿病併発患者の栄養教育方法	
	【予習】第3回目の内容について把握する	0分
	【復習】第3回目の内容について確認する	0分
第4回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第4回目の内容について把握する	0分
	【復習】第4回目の内容について確認する	0分
第5回	【内容】 テーマ 腎疾患患者の栄養教育 の栄養教育方法	
	【予習】第5回目の内容について把握する	30分
	【復習】第5回目の内容について確認する	60分
第6回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第6回目の内容について把握する	30分
	【復習】第6回目の内容について確認する	60分
第7回	【内容】 テーマ 炎症性腸疾患（IBD：UCあるいはCD）患者の栄養教育方法	
	【予習】第7回目の内容について把握する	30分
	【復習】第7回目の内容について確認する	60分
第8回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第8回目の内容について把握する	30分
	【復習】第8回目の内容について確認する	60分
第9回	【内容】 テーマ やせ、妊婦の栄養教育方法	
	【予習】第9回目の内容について把握する	30分
	【復習】第9回目の内容について確認する	60分
第10回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第10回目の内容について把握する	30分
	【復習】第10回目の内容について確認する	60分

第11回	【内容】 テーマ 短距離陸上選手の栄養教育方法	
	【予習】第11回目の内容について把握する	30分
	【復習】第11回目の内容について確認する	60分
第12回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第12回目の内容について把握する	30分
	【復習】第12回目の内容について確認する	60分
第13回	【内容】 テーマ 女子、審美系競の栄養教育方法	
	【予習】第13回目の内容について把握する	30分
	【復習】第13回目の内容について確認する	60分
第14回	【内容】 テーマ の栄養教育の準備 グループごとのテーマで活動	
	【予習】第14回目の内容について把握する	30分
	【復習】第14回目の内容について確認する	60分
第15回	【内容】 テーマ やせ、高血圧患者の栄養教育方法	
	【予習】第14回目の内容について把握する	30分
	【復習】第14回目の内容について確認する	60分

授業科目名	調理学特論			科目コード	A135-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 給食の運営		担当教員名	半田 彩実					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	調理学に関する基礎的知識		後継科目	調理学特別実習					
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学) 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	調理学における人間と食べ物のかかわりについて基本的な考え方を理解する。授業前半では、健康的な日常生活を送るための栄養バランスや食事環境、食品の調理機能などについて振り返りを含めて講義中心に進める。授業後半では、調理学に関する研究はどのような内容が行われているかについて最新の論文を読み、報告することを通じて学びや関心を深める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な調理学の基本的知識を修得する。 調理学の要点や関心のある最新の論文を分かりやすくまとめ、学びを深める。								
キーワード	調理学 健康 調理操作 調理機能 食事環境								
テキスト・ 参考書等	テキスト：川端晶子他編「時代とともに歩む 新しい調理学(第2版)」, 学建書院								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	調理学の専門的知識を理解している。								
LO-2									
LO-3	調理学に関する最新の論文を分かりやすくまとめて発表し、内容を活かそうと考えている。								
LO-4									
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60				30	10			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3					30				30
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業への関心・意欲・態度、提出物の内容などを総合して評価する。 論文紹介の際、発表担当者は、PowerPointを作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読んでくること。 論文紹介の発表については、その場でコメントをする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：授業の進め方の説明 調理学とは、人間と食べ物のかかわり	
	【予習】シラバスに目を通し、内容を確認する	20分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第2回	食事設計 資料	
	【予習】テキストの第2章（p.20～p.40）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第3回	おいしさの科学と文化 資料	
	【予習】テキストの第3章（p.42～p.68）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第4回	調理システムと調理機器 資料	
	【予習】テキストの第4章（p.70～p.89）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第5回	植物性食品の調理機能1 穀類、芋類、豆類、種実類 資料	
	【予習】テキストの第5章（p.109～p.127）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第6回	植物性食品の調理機能2 野菜類、果実類、海藻類、きのこ類 資料	
	【予習】テキストの第5章（p.127～p.138）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第7回	動物性食品の調理機能 食肉類、魚介類、卵類、乳類 資料	
	【予習】テキストの第5章（p.139～p.159）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第8回	抽出食品素材の調理機能、調理環境 発表方法の説明	
	【予習】テキストの第5章（p.160～p.181）、第6章（p.184～p.198）を読んでおく	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第9回	管理栄養士の過去問題に触れる 発表の準備	
	【予習】これまでの内容を教科書を使用して理解しておく	60分
	【復習】紹介する論文を検索する	80分
第10回	論文紹介1	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点などについて調べる	120分

第11回	論文紹介2	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点などについて調べる	120分
第12回	論文紹介3	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点などについて調べる	120分
第13回	論文紹介4	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点などについて調べる	120分
第14回	最新論文から活かせる内容の検討	
	【予習】これまで紹介された論文を振り返る	150分
	【復習】次回の準備を行う	120分
第15回	発表とまとめ	
	【予習】発表の流れや資料を確認し、発表ができるように準備をする	120分
	【復習】授業内容を振り返り、テストに備える	180分

授業科目名	栄養士総合特別演習			科目コード	A151-20				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	臨床栄養学特論、や、臨床栄養学特別実習で学んだことを復習しておくこと。		後継科目	臨床栄養学学外実習(臨地実習) 公衆栄養学学外実習(臨地実習)					
関連科目	臨床栄養学特別実習 公衆栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	傷病者に対する適切な栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解する。 栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得する。 医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解する。								
学習目標	臨床栄養・公衆栄養について現場における管理栄養士の職務内容と責務について学習する。学習を通して、臨地実習の意義を認識し、目標を定め、管理栄養士の専門性についての理解を深める力を養う。								
キーワード	クリニカルパス 栄養教育 実践 多職種協働(チーム)								
テキスト・ 参考書等	「臨地実習マニュアル[臨床栄養学第6版]」建帛社 「臨地実習及び校外実習の実際(2014年版)」(公社)日本栄養士会(社)全国栄養士養成施設協会 「臨床栄養学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識：栄養管理業務について専門的な知識・理解力を習得していること。								
LO-2	技術：臨地実習に向けて専門技術・実践力を習得していること。								
LO-3	思考力：臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を備えていること。								
LO-4	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように努めていること。								
LO-5	人間性：栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を備えていること。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	70		20			100
LO-1			10	10		20			40
LO-2				20					20
LO-3				10					10
LO-4				20					20
LO-5				10					10
備考	レポート・作品提出(80%)、平常点(20%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度、成果の発表等の結果を含む。 レポートにはコメントをつけて返却する。栄養管理のためのアクティブラーニングを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	/ 臨地実習の概要（臨床栄養学） 臨地実習施設について 「臨地実習マニュアル」と「臨地実習及び校外実習の実際」から	
	【予習】「臨地実習マニュアル」と「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】臨地実習の心構えを明確にし、理解を深める。	30分
第2回	/ 医療従事者としての心構え 栄養部門の役割	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p2～20を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】実習の目的を明確にする。多職種役割を理解し、院内でのチームについて整理する。	30分
第3回	/ 給食の運営・経営管理	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p.76～92を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】給食運営・給食経営に必要な語句の意味について理解を深める。	30分
第4回	/ 管理栄養士とチーム医療・クリニカルパス 臨地実習施設について。多職種協働において管理栄養士に求められる知識や役割を考える。	
	【予習】多職種協働において管理栄養士に求められる知識や役割を考える。	30分
	【復習】各種委員会等の役割を整理する。	30分
第5回	/ 栄養アセスメント、栄養補給法、ベッドサイド訪問 臨地実習の実際について	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p.23～33を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】治療食分類、各種栄養剤の特徴について理解を深める。	30分
第6回	/ 栄養教育のテクニック。栄養教育の流れを理解し、教育の手法について予習する。測定、身体計測、歩く速さ等	
	【予習】栄養教育の流れを理解し、教育の手法について予習する。	30分
	【復習】問診・栄養指導記録方法について理解を深める。	30分
第7回	/ 病態栄養管理のための集団栄養指導の実際について。どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】患者や家族の視線で媒体や内容が好ましいか、また倫理的に問題となる言葉がないか再考する。	30分
第8回	/ 栄養指導媒体を用いて 臨地実習課題について。表現力豊かな演出を練習する。臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について 集団指導用媒体作成	
	【予習】表現力豊かな演出を練習する。臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について	30分
	【復習】反省も含め、他グループから学んだことを整理し、レポート提出する。	30分
第9回	/ 集団指導発表	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】テーマに基づき、媒体を作成する。 記録方法を理解し、SOAPでの記録にどのような記載が必要か整理する。	30分
第10回	/ 栄養指導媒体（集団指導用）について 臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について	
	【予習】各テーマについて媒体を作成し、どのような場面での使用が検討しておく	30分
	【復習】各班の発表について気づきをまとめる。また、自らの改善点をまとめる。	30分

第11回	/ 臨地実習施設の組織、管理栄養士業務を調べる。 臨地実習先事前打ち合わせと実習課題の見直し	
	【予習】臨地実習施設の組織、管理栄養士業務を調べる。	30分
	【復習】臨地実習先事前打ち合わせと実習課題の見直しで、実習目標を明確にし、課題を事前に調べる。 プリントを整理する。	30分
第12回	/ 臨床栄養学臨地実習オリエンテーション（ノートの書き方、レポート提出等） 令和3年度評価表	
	【予習】臨地実習施設、組織図、特徴等を調べる。	30分
	【復習】実習に備える。	30分
第13回	/ 公衆栄養学1（実習オリエンテーション）	
	【予習】「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】日本・富山県の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第14回	/ 時間割変更 4限 公衆栄養学2（公衆栄養学臨地実習先の検討）	
	【予習】居住地や近隣の公衆栄養拠点を調べる。	30分
	【復習】居住地の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第15回	/ 臨床栄養学（臨地実習事前指導） スライド発表（1月12日に提出、19日発表）	
	【予習】公衆衛生・公衆栄養活動にはどのようなものがあるのか調べる。	30分
	【復習】臨地実習に備えノートを整理する。	30分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目			担当教員名	竹内 弘幸				
実務経験									
開講時期	1年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	4単位				
前提科目(知識)	食品学、食品学各論、食品加工学			後継科目	後継科目：特別研究				
関連科目	食品学特論、食品学特論								
資格等 取得との関連	学士（栄養士）								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査または実験を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果については、学会にて発表を行う。								
学習目標	食品および栄養学な観点から、提示されたテーマについて深く調査・研究を行っていくことで、高い調査能力、論理的な思考力、レポート作成能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等	テーマに関連した総説や学術論文								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した深い知識を身に付けている。								
LO-2	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法を身に付けている。								
LO-3	設定された課題に対して必要となる情報は何か分かり、またその収集方法を知っている。課題解決のためのプロセス（研究方法）を考え出すことができる。得られた結果から、論理的に明確な結論を導き出すことができる。								
LO-4	研究内容について高い関心を持ち、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。また、協働して働くことができる真摯な態度を持っている。								
LO-5	研究内容について、パワーポイントを用いて科学的で、わかりやすく説明することができる。豊かな人間性を持ち、栄養士の専門職としての使命感や責任感を持っている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	<p>毎回内容について指導をしながら、研究を進めて行く。 A:研究への関心、姿勢について評価。 授業は、毎回ディスカッションをしながら進めます。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	概要説明とテーマ説明	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	テーマに関する基本事項	
	【予習】 テーマについての基本事項についてまとめる	120分
	【復習】	0分
第3回	テーマに関する基本事項について発表する	
	【予習】 基本事項について発表できるようにまとめてくる	120分
	【復習】	0分
第4回	先行研究について	
	【予習】 先行研究について自分なりに調査をしてくる	120分
	【復習】	0分
第5回	先行研究から導き出される仮説案作成	
	【予習】 自分なりに仮説案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第6回	仮説の絞り込みと検証	
	【予習】 先行研究などをもとに仮説の絞り込みを行ってくる	120分
	【復習】	0分
第7回	実験計画の作成	
	【予習】 先行研究を参考にしながら実験計画案を作成する	120分
	【復習】	0分
第8回	実験計画の修正	
	【予習】 仮説、先行研究、実験環境など現実的な視点から実験計画を修正してくる	120分
	【復習】	0分
第9回	実験計画の作成（最終案）	
	【予習】 さらに検討を重ねて最終的な計画案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第10回	調査・研究の準備 : 実験計画の概要策定	
	【予習】 実験に必要な項目をリストアップ	120分
	【復習】	0分

第11回	調査・研究の準備 : 具体的実験計画の作成	
	【予習】具体的な調査・研究の準備を考える	120分
	【復習】	0分
第12回	調査・研究の準備 : 必要な試薬や器具の手配	
	【予習】最終的な準備、漏れなどがないかよく確認する	120分
	【復習】	0分
第13回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく。	120分
第14回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第15回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第16回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第17回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第18回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第19回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第20回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分

第21回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第22回	データ集計方法について学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】集計方法に従いデータを集計する	120分
第23回	追加のデータ集計を実施	
	【予習】	0分
	【復習】データ集計結果の確認を行う	120分
第24回	統計方法について	
	【予習】	0分
	【復習】統計手法について理解を深める	120分
第25回	統計解析の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した統計解析方法の確認と理解	120分
第26回	研究結果のまとめ	
	【予習】データ集計や統計解析から得られた結果をまとめる	120分
	【復習】	0分
第27回	研究結果の考察	
	【予習】まとめた研究結果から考えられること、仮設から導きられる研究の結論について考えてくる	120分
	【復習】	0分
第28回	考察の検証	
	【予習】先行研究を調査することで、結論の妥当性について確かめる	120分
	【復習】	0分
第29回	研究結果から得られる結論	
	【予習】	0分
	【復習】研究内容の要旨を作成	120分
第30回	学会発表の準備と申込	
	【予習】学会発表申し込みに必要な事項を理解しておく	120分
	【復習】	0分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目	特別研究					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養士)								
授業の概要	研究テーマに関して、調査・研究を行い、特別研究論文を作成し、成果発表を行う。 研究成果の発表については学会にて行う。								
学習目標	調査・研究に結果をまとめ、結論を導き、それが卒後の業務にどのように繋がっていくのかを理解する。 それらに伴う、レポート作成およびプレゼンテーション能力を養う。								
キーワード	研究 論文 プレゼンテーション								
テキスト・ 参考書等	授業の中で随時配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自身の研究テーマに関する専門的な知識を身に付けている。								
LO-2	自身の研究テーマに関する研究手法を身に付けている。								
LO-3	自身の研究テーマに関する情報の収集および課題の解決方法を身に付けている。								
LO-4	研究結果から導き出された問題について、自ら解決する方法を考えることができる。								
LO-5	自身の研究テーマに対して、自ら説明することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	A:レポート作成に取り組む姿勢を総合的に評価する 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します:ディスカッション								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究テーマの説明	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマについて検討する	90分
第2回	研究テーマの検討	
	【予習】先行研究について調べる	0分
	【復習】	90分
第3回	研究テーマに関する先行研究の発表	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマに関連する論文をさがす	90分
第4回	研究テーマの決定	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマに関連する論文をよむ	90分
第5回	実験方法に関する検討	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマに関連する論文から最適な実験方法をさがす	90分
第6回	実験方法に関する検討	
	【予習】	0分
	【復習】実験計画の立案	90分
第7回	実験計画の立案	
	【予習】	0分
	【復習】実験計画の検討	90分
第8回	実験計画の立案	
	【予習】	0分
	【復習】実験計画の検討	90分
第9回	予備実験	
	【予習】	0分
	【復習】予備実験の結果をまとめる	90分
第10回	予備実験	
	【予習】	0分
	【復習】予備実験の結果をまとめる	90分

第11回	予備実験	
	【予習】	0分
	【復習】予備実験の結果をまとめる	90分
第12回	予備実験	
	【予習】	0分
	【復習】予備実験の結果をまとめる	90分
第13回	予備実験の結果から実験計画を修正する	
	【予習】	0分
	【復習】実験計画を再考する	90分
第14回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第15回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第16回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第17回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第18回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第19回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第20回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分

第21回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第22回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第23回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第24回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第25回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第26回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第27回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第28回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第29回	本実験	
	【予習】	0分
	【復習】本実験の結果をまとめる	90分
第30回	研究結果のまとめ	
	【予習】	0分
	【復習】研究結果の総まとめ、学会発表のスライド作成	90分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	藤田 恭輔					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得								
授業の概要	教員の提示した栄養学に関するテーマについて、研究に取り組み論文をまとめて学会等での発表を行う。作成した論文は学位授与機構に提出するため、学位の所得に大きく関わる科目である。								
学習目標	教員指導の下で自分の研究テーマに関する知見を得ること目指し、文献購読、実験計画、結果の考察、プレゼンテーション等の研究の一連の流れを自主的に行い、問題解決能力を身につける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自分の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。								
LO-2	自分の研究テーマに関する実験技術を身につけている。								
LO-3	自分の研究テーマについて深く理解し、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができる。								
LO-4	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲をもつ。								
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と積極的に意見交換できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						60			60
LO-5						10			10
備考	A.特別研究に対する取り組み方を総合的に評価する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：ディスカッション								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明、研究の進め方の説明	
	【予習】研究に関して興味を持つ。	60分
	【復習】研究概要や研究の進め方について理解する。	60分
第2回	研究テーマについての説明	
	【予習】研究テーマを自分なりに考えてくる。	30分
	【復習】研究テーマについての調査	60分
第3回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第4回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第5回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第6回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第7回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第8回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第9回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第10回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分

第11回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第12回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第13回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第14回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第15回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第16回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第17回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第18回	データ整理の説明	
	【予習】これまで得られたデータを見直す	90分
	【復習】データ整理についての確認	30分
第19回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第20回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

第21回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第22回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第23回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第24回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第25回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第26回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第27回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第28回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第29回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第30回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31					
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	川口 将史						
実務経験										
開講時期	1年通年		授業の方法	演習						
必修・選択	必修		単位数	4単位						
前提科目(知識)			後継科目							
関連科目										
資格等 取得との関連	学士(栄養士)									
授業の概要	教員が提示した栄養あるいは食品に関するテーマについて研究に取り組み、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果について学会での発表を行う。									
学習目標	教員の指導の下で研究の一連の流れを自主的に行う。まず文献講読により研究の背景と実験の原理を理解し、結果を得るための実験計画を自身で立案する。実験により得られた結果について考察し、自身が導き出した結論を論文(レポート)にまとめ、プレゼンテーションを行う。一連の研究活動を通じて、問題点を発見する能力と問題を解決する能力を養う。									
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士									
テキスト・ 参考書等	テキストなし									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果									
LO-1	研究テーマの背景や実験の原理を理解している。									
LO-2	研究テーマに関する実験技術を身につけている。									
LO-3	データを得るための実験計画を自身で立案できる。 得られた結果について論理的に解釈し、自身が得た結論をプレゼンテーションを通じて他者に伝えることができる。									
LO-4	研究テーマについて、問題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。									
LO-5	研究テーマを遂行するため、担当教員や他の学生メンバーと積極的に意見交換できる。									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計	
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C		
総合評価(割合)						100			100	
LO-1						10			10	
LO-2						10			10	
LO-3						30			30	
LO-4						40			40	
LO-5						10			10	
備考	A. 特別研究に対する取り組み方を総合的に評価する。 右記のアクティブラーニングを授業の各単元で実施します：ディスカッション(意見交換)、問題解決型学習(論文検索その他)									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明 研究の進め方の説明	
	【予習】	0分
	【復習】研究概要と研究の進め方について理解する。	60分
第2回	研究テーマの説明	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマの内容について理解する。	60分
第3回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第4回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第5回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第6回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第7回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第8回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分
第9回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分
第10回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分

第11回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第12回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第13回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第14回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験の結果から、研究計画が妥当か考察する。	60分
第15回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第16回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第17回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第18回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第19回	データ整理の方法に関する検討	
	【予習】データ整理の方法について確認しておく。	30分
	【復習】データ整理の方法が妥当か考察する。	60分
第20回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分

第21回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第22回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第23回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第24回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第25回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第26回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第27回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第28回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第29回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第30回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	高木 尚紘					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)	栄養指導および栄養教育に関する基礎知識		後継科目						
関連科目	栄養指導論および栄養教育論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究結果を学会にて発表を行う								
学習目標	教員指導のもと、研究計画を立案し、調査を行い、結果をまとめながら考察を行う。論文作成に必要なプロセスを理解し実行できるようになることが目標である。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	調査結果をレポートにまとめ、学位授与機構に提出できること。学会で発表する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			80		20				100
LO-5									
備考	研究をまとめる過程で、コメントや添削を行い完成をめざす								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別研究の概要を解説する。研究テーマに関連する内容の情報を提示する。情報検索の方法を伝える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する	
	【予習】 研究テーマに関連する先行研究を検索し、情報を収集しておく	120分
	【復習】	0分
第3回	研究テーマに関連する先行研究の論文を読み内容を理解する	
	【予習】 関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】	0分
第4回	研究テーマに関連する先行研究の論文を読み内容を理解する	
	【予習】 関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】	0分
第5回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(1)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第6回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(2)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第7回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(2)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第8回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(3)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第9回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(4)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第10回	調査項目の検討と作成(1)	
	【予習】 調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分

第11回	調査項目の検討と作成(2)	
	【予習】調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分
第12回	調査項目の検討と作成(3)	
	【予習】調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分
第13回	調査データの収集(1)	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第14回	調査データの収集(2)	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第15回	調査データの収集(2)	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第16回	調査データの収集(3)	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第17回	調査データの集計および整理(1)	
	【予習】調査データの集計準備をしておく。	120分
	【復習】	0分
第18回	調査データの集計および整理(2)	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第19回	調査データの集計および整理(3)	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第20回	調査データの集計および整理(4)	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分

第21回	調査データの集計および整理（5）	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第22回	調査内容の再検討（1）	
	【予習】研究テーマの再検討	120分
	【復習】	0分
第23回	調査内容の再検討（2）	
	【予習】研究内容の再検討	120分
	【復習】	0分
第24回	調査内容の見直し、再収集	
	【予習】見直し、再収集の準備をしておく	120分
	【復習】	0分
第25回	データの分析を行う。（1）	
	【予習】データ分析について予習を行っておくこと。	120分
	【復習】	0分
第26回	データの分析を行う。（2）	
	【予習】データ分析について予習を行っておくこと。	120分
	【復習】	0分
第27回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（1）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第28回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（2）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第29回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第30回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（3）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)								
授業の概要	提示した研究テーマについて実験を行い、学位授与機構にレポート提出する。また、研究成果を学会にて発表する。								
学習目標	教員指導のもと、研究計画を立案し、実験を行い、先行知見に基づき考察を行う。論文作成に必要なプロセスを理解し実行できるようになることが目標である。								
キーワード	衛生、微生物、学士(栄養学)								
テキスト・ 参考書等	論文検索サイト等を用いて自身で収集すること。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を身につけている。								
LO-2	自身が用いる実験方法や検定方法を身につけている。								
LO-3	実験結果から結論を導き出すことができる。								
LO-4	テーマに関わる周辺知識を意欲的に調べている。								
LO-5	他者に伝わりやすいパワーポイント作成や説明ができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	執筆したレポートはコメントを添えて返却し、さらに推敲してもらいます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別研究の概要を解説する。研究テーマに関連する内容の情報を提示する。先行研究検索の方法を伝える。	
	【予習】昨年度生の学位レポートを読む。	60分
	【復習】研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する。	60分
第2回	研究テーマに関連する先行研究を検索し、関連する論文はコピーをとっておく。	
	【予習】研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する。	60分
	【復習】収集した先行研究の論文を読み内容を理解する。	60分
第3回	収集した論文を読み内容を理解する。	
	【予習】関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】収集した論文を整理する（表にまとめる）。	0分
第4回	収集した論文を読み内容を理解する。	
	【予習】関連する論文を集めコピーをとっておく。	60分
	【復習】収集した論文を整理する（表にまとめる）。	60分
第5回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（1）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第6回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（2）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第7回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（3）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第8回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（4）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第9回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（5）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第10回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（6）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分

第11回	実験(1)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第12回	実験(2)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第13回	実験(3)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第14回	実験(4)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第15回	実験(5)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第16回	実験(6)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第17回	図表作成(1)	
	【予習】使用するデータを検討	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第18回	図表作成(2)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第19回	図表作成(3)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第20回	図表作成(4)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分

第21回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について確認する。	60分
	【復習】引き続き統計処理を行う。	60分
第22回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について理解を深める。	60分
	【復習】引き続き統計処理を行う。	60分
第23回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について理解を深める。	60分
	【復習】再実験の必要性を再度検討する。	60分
第24回	結果を元にレポート作成	
	【予習】昨年度生の学位レポートを読む。	60分
	【復習】執筆する。	60分
第25回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第26回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第27回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第28回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第29回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第30回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	半田 彩実					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)	食品学, 食品衛生学, 調理学		後継科目	特別研究					
関連科目	食品学特論 , 食品衛生学特論, 調理学特論に関連する講義および実験・実習科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)								
授業の概要	研究テーマについて、文献や資料の検索、収集の仕方を身に付けるとともに、文献を読み、発表することを繰り返し行うことによって、テーマについての理解を深める。また、計画に基づいて実験や調査を実施し、その結果を見ながら実験の方向性や実験方法の検討、調査票を検討しながら進めていく力を養う。								
学習目標	先行研究を検索・収集し、まとめることができる。 実験を繰り返し実施して結果を出し、その結果を受けて行うべき内容を考えることができる。								
キーワード	研究 主体性 野菜								
テキスト・ 参考書等	適宜、必要に応じて配布するが、研究テーマに沿った先行研究が主なテキストになるので、主体的にインターネット等を用いて論文検索を行うこと。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した内容を理解している。								
LO-2									
LO-3	研究テーマに関する先行研究や実験の結果をわかりやすくまとめ、今後行うべき内容を考えることができる。								
LO-4	研究テーマに対して関心を持ち、問題解決に向けた意欲がある。								
LO-5	研究テーマに対して担当教員などと積極的に意見交換でき、協調性をもって研究を行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		20	40			100
LO-1					20				20
LO-2									
LO-3			40						40
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>その他Aは、授業に対して取り組む姿勢から判断する。 作成したレポートや発表資料は、ディスカッションにも使用し、その場でコメントを伝える。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する：ディスカッション</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究テーマの概要説明 研究とは	
	【予習】説明会の際の内容を思い出しておく	20分
	【復習】研究計画を考える	30分
第2回	研究計画書の作成 論文の検索方法	
	【予習】研究計画書について調べる	30分
	【復習】研究テーマに合った論文を検索する	30分
第3回	研究計画書の確認	
	【予習】研究計画書を再度見直す	30分
	【復習】研究テーマに合った論文を検索し、紹介論文を決める	120分
第4回	論文抄読 発表とディスカッション1 フォーマット	
	【予習】検索した学術論文の中から1つ選び、内容をA4, 1枚のレジュメにまとめる	120分
	【復習】引き続き、論文を検索する	30分
第5回	プレゼンテーションについて	
	【予習】見やすいプレゼンテーションについて考える	30分
	【復習】引き続き、論文を検索する	30分
第6回	論文抄読 発表とディスカッション2	
	【予習】検索した学術論文の中から1つ選び、内容をプレゼンテーションにまとめる	120分
	【復習】引き続き、論文を検索する	30分
第7回	研究方法について	
	【予習】研究方法の種類を調べる	30分
	【復習】研究テーマに適した方法は何かを考える	30分
第8回	実験・調査の準備1	
	【予習】実験・調査に必要なものを用意する	30分
	【復習】実験・調査の流れを確認する	30分
第9回	実験・調査の準備2	
	【予習】濃度計算の方法・調査票を確認する	30分
	【復習】予備実験に向けて、必要なものをすべて用意する	60分
第10回	予備実験・調査1	
	【予習】実験・調査の流れを確認する	30分
	【復習】予備実験・調査を踏まえて改善・修正をする	60分

第11回	予備実験・調査2	
	【予習】実験・調査の流れを確認する	30分
	【復習】予備実験・調査を踏まえて改善・修正をする	60分
第12回	予備実験・調査3	
	【予習】実験・調査の流れを確認する	30分
	【復習】本実験・本調査に向けて準備を進める	60分
第13回	実験・調査の実施1	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第14回	実験・調査の実施2	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第15回	実験・調査の実施3	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第16回	これまでの研究成果発表とディスカッション	
	【予習】夏休みに行った内容と結果を踏まえて発表ができるよう、PowerPointを作成する	120分
	【復習】ディスカッションを踏まえ、今後行うべき内容を考える	60分
第17回	中間発表会に向けたPowerPointおよび原稿の作成1	
	【予習】前回の発表資料を基に見やすくできるよう検討する	30分
	【復習】時間内に発表できるように調整する	60分
第18回	中間発表会に向けたPowerPointおよび原稿の作成2	
	【予習】前回のディスカッションを踏まえて修正・検討する	60分
	【復習】発表練習をする	60分
第19回	中間発表会に向けたリハーサル	
	【予習】発表会に向けて発表原稿を読み返し、練習および質問について答えられるように準備する	30分
	【復習】リハーサルでの修正箇所を検討し、発表会に向けて十分に練習をする	60分
第20回	今後の進め方の検討と確認	
	【予習】中間発表会時の意見交換内容を振り返り、質問の回答をまとめる	60分
	【復習】実験方法を再度確認する	30分

第21回	実験・調査の実施4	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第22回	実験・調査の実施5	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第23回	実験・調査の実施6	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第24回	実験・調査の実施7	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第25回	実験・調査の実施8	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第26回	実験・調査の実施9	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第27回	実験・調査の実施10	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第28回	実験・調査の実施11	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第29回	実験・調査の実施12	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第30回	実験・調査の実施13	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分

授業科目名	臨床心理学特論			科目コード	A311-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 社会生活と健康		担当教員名	和澤 敦子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	臨床栄養学特論					
関連科目	社会福祉特論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	<p>まず、臨床心理学とカウンセリングの定義、栄養教育における栄養カウンセリングの位置づけについて学ぶ。次に、栄養カウンセリングに必要なカウンセリングスキルとカウンセリング理論、栄養カウンセリングの基礎と応用、心の病について学ぶ。更に、実習（ロールプレイ）を通して、栄養カウンセリングの場面を実際に体験する。</p>								
学習目標	<p>現代社会において増加している心理臨床的な援助を必要とする人の心や、具体的な援助法を理解する。また、様々な視点から、栄養カウンセリングを学び、栄養カウンセリングのイメージを深めていくことを目標とする。</p>								
キーワード	臨床心理学、カウンセリング、栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養カウンセリングなどについて、きちんと理解していること。								
LO-2	栄養カウンセリングのイメージを深め、ロールプレイにおいて適切なカウンセリングが行えること。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50				50				100
LO-1	50								50
LO-2					50				50
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	アクティブラーニング(実習)を10回目~15回目(全6回)の授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨床心理学とカウンセリングの定義 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ	
	【予習】『配布資料-1 臨床心理学とカウンセリングの定義、栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ』の 1.臨床心理学とは何か? を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-1と授業の内容を復習する。	60分
第2回	栄養教育に必要なカウンセリングスキル(前半)	
	【予習】『配布資料-2 栄養教育に必要なカウンセリングスキル』の 1.栄養カウンセリングの基本的態度 を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-2と授業の内容を復習する。	60分
第3回	栄養教育に必要なカウンセリングスキル(後半)	
	【予習】『配布資料-2 栄養教育に必要なカウンセリングスキル』の 4.まとめ を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-2と授業の内容を復習する。	60分
第4回	栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論(来談者中心療法)	
	【予習】『配布資料-3 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論(来談者中心療法)』の 1.来談者中心療法とは を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-3と授業内容を復習する。	60分
第5回	栄養カウンセリングの基礎	
	【予習】『配布資料-5 栄養カウンセリングの基礎』の 1.基本的事項 を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-5と授業の内容を復習する。	60分
第6回	栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論(動機づけ面接)	
	【予習】『配布資料-6 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論』の 動機づけ面接とは を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-6と授業の内容を復習する。	60分
第7回	栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論(グループアプローチ)	
	【予習】『配布資料-8 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論(グループアプローチ)』の グループアプローチとは を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-8と授業の内容を復習する。	60分
第8回	心の病	
	【予習】『配布資料-9 心の病』を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-9と授業の内容を復習する。	60分
第9回	栄養カウンセリングの実習(ロールプレイ)の進め方	
	【予習】『配布資料-10 栄養カウンセリングの実習(ロールプレイ)の進め方』を読んでおく。	30分
	【復習】配布資料-10と授業の内容を復習する。	60分
第10回	栄養カウンセリングの実習(ロールプレイ-1)と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分

第11回	栄養カウンセリングの実習（ロールプレイ-2）と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分
第12回	栄養カウンセリングの実習（ロールプレイ-3）と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分
第13回	栄養カウンセリングの実習（ロールプレイ-4）と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分
第14回	栄養カウンセリングの実習（ロールプレイ-5）と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分
第15回	栄養カウンセリングの実習（ロールプレイ-6）と発表	
	【予習】ペアの相手と一緒に、ロールプレイの準備をしておく。	90分
	【復習】ペアの相手と一緒に、授業中に行ったロールプレイの内容について振り返る。	60分

授業科目名	情報処理特論			科目コード	A315-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 給食の運営		担当教員名	松村 健太 土田 暁子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	短大卒業程度の情報処理の知識		後継科目						
関連科目	保健衛生学 、 給食管理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	医療統計、疫学調査、介入研究の実際などについて学ぶ。Excelでは様々なデータ処理が可能であるが、ここでは特にExcelの統計処理機能に重点をおいて学ぶ。各種統計処理に準備された関数を使って、どのように検定が行えるかをみる。仮説、帰無仮説、対立仮説、有意率、棄却といった基本的な概念からはじめ、各種の検定を実例を通してみることにより、栄養・食品の安全性研究等への理解を深める。								
学習目標	医療統計、疫学調査、介入研究について概説ができること。 仮定仮説、有意率などの概念を理解し、栄養・食品の安全性関係の研究の理解を深めること。 正規分布、t検定、F検定にまつわるExcel関数とその使用方法を理解し、ExcelマクロとVisual Basicの大枠を把握すること。								
キーワード	情報処理、確率統計、疫学調査、介入研究								
テキスト・ 参考書等	特になし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	授業で扱った内容を網羅的に理解し、正しく説明できる。								
LO-2	(1)パラメトリック統計とノンパラメトリック統計を体系的に説明できる。(2)検定とは何かの説明できる。(3)t検定、分散分析、パラメトリック多重比較の経験を持つ (4)2群の比較、3群以上の比較のノンパラメトリックのアナロジーができる。(5)								
LO-3									
LO-4	エビデンスに基づく栄養を考える際に必要となる統計について、全般的な見通しがきき、将来にわたり守備範囲を広げていくことができること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20			80			100
LO-1			10						10
LO-2						80			80
LO-3									
LO-4			10						10
LO-5									
備考	レポート(20%程度)、授業で指定した提出物(80%程度)とし、総合評価する。提出物に関しては、添削結果とコメントを付けて学生に返却する。 授業時間内に指定した課題が終わらなかった場合は、次回の開始時まで提出すること。宿題も同様である。ノートPCセッティングは、授業開始前に済ませておくこと。なお、進度により内容を変更することがある。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	食品の安全性を評価するための研究理解 1(土田) 内閣府食品安全委員会のリスク評価・ファクトシートの見方	
	【予習】前回までの授業を見返すこと、インターネット接続環境を用意すること。	15分
	【復習】内閣府食品安全委員会が食品中の物質についてリスク評価を行なっていること、ファクトシート(科学的知見に基づく概要書)を作成していることを理解し、それぞれの内容を理解する。	30分
第2回	食品の安全性を評価するための研究理解 2(土田) 内閣府食品安全委員会のリスク評価の科学的根拠	
	【予習】前回の内容を復習し、十分理解しておくこと。インターネット接続環境を用意すること。	15分
	【復習】内閣府食品安全委員会のリスク評価「魚介類に含まれるメチル水銀に関する食品健康影響評価について」の提言について理解する。また、どのような指標(=科学的根拠)を用いて評価に至ったかを理解する。	30分
第3回	医療統計、疫学調査、介入研究(松村) 実際の栄養系の医療統計、疫学調査、介入研究などがどのように行われているか、またそのデータの読み解き方、解釈方法について概説する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容について把握すること	15分
	【復習】配布された資料および自分のノートを読んで、理解しておくこと	30分
第4回	記述統計学と推測統計学(松村) 変数の尺度(比例、間隔、順序、名義)、実験計画と要因配置、エビデンスレベル、バイアス	
	【予習】各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと	15分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	30分
第5回	代表値、基本統計量(分散、標準偏差、変動係数)、正規分布、確率密度関数、累積分布関数、歪度、尖度、など 散布図、単純集計、クロス集計(松村)	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第6回	母集団と標本(松村) 無作為抽出、大数の法則、中心極限定理、スチューデントのt分布、二項分布、信頼区間	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第7回	仮説検定(松村) 有意、p値、第1種と2種の誤り カイ二乗検定 比率の検定、適合度の検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること	40分
第8回	相関係数、外れ値、相関係数の差の検定、回帰分析、単回帰(松村)	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第9回	対応のない2群のデータの検定(松村) (パラメトリック)対応のないt検定、F検定(2群の等分散の検定)、ウェルチの検定、 (ノンパラメトリック)マンホイットニ検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第10回	対応のある2群の検定(松村) (パラメトリック)対応のあるt検定、 (ノンパラメトリック)、ウィルコクソンの符号付順位和検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分

第11回	対応のない独立多群の検定（松村） （パラメトリック）一元配置分散分析、多重比較法（ダネット法、テューキー法） （ノンパラメトリック）クラスカルワリス検定、多重比較法	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境と、インターネット接続環境を用意しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第12回	関連多群の検定（松村） （パラメトリック）繰り返しのない二元配置分散分析、繰り返しのある二元配置分散分析 （ノンパラメトリック）フリードマン検定、多重比較法	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境と、インターネット接続環境を用意しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第13回	重回帰、多重ロジスティック回帰、一般線形化モデル（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第14回	プログラミングによる栄養計算(1) 変数定義、加減乗除、セル参照、制御構造、ブレイクポイント設定、デバッグ（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。 全体を通して未提出の課題、レポート等がある場合は、早めに提出すること。	40分
第15回	プログラミングによる栄養計算(2) プログラムからのワークシート関数の参照方法、日本食品標準成分表などのデータベース参照方法（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。 全体を通して未提出の課題、レポート等がある場合は、早めに提出すること。	40分

授業科目名	健康科学文献講読			科目コード	A317-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	望月 健一					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	外国語文献講読 特別研究(1年生)					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食物栄養学の英語のニュース、エッセイ、論文の抄録 (abstract) を精読し、実践的な英文読解力の向上を図る。また、自分の研究分野に関する英語の論文を自分で探す力を身につける。								
学習目標	食物や栄養学の分野の英語の語彙・表現の知識を身につけるとともに、実践的な英文読解力の向上を図る。								
キーワード	食物や栄養学の分野の英語の語彙、表現、専門用語、論文								
テキスト・ 参考書等	プリント使用。以下の著書、教科書、論文で、いくつか重要な箇所を選び、精読する。 ・ 'Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語を習得している。								
LO-2	【技能】食物や栄養学の分野の英文の内容を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】食物や栄養学の分野の英文を批判的に読み、自分の意見を持つことができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の研究分野に関する最新の研究に関心を持ち、英語の論文を自分で探すことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】食物や栄養学の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	40	10					90	
LO-1	8	8	2					18	
LO-2	8	8	2					18	
LO-3	8	8	2					18	
LO-4	8	8	2					18	
LO-5	8	8	2					18	
備考	小テスト(40%)、最終試験(40%)、自分の研究分野の英語参考文献リスト(20%)で評価する。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、英語で自己紹介、新型コロナ・ウイルスに関する英語のクイズ	
	【予習】なし。	0分
	【復習】自分の趣味、好きな食べ物、研究テーマ、キーワード等について、英語でどのように表現するか辞書等で確認する。	15分
第2回	Patient-centered approach to treating obesity (患者に焦点をあてた肥満治療へのアプローチ) (1)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第3回	Patient-centered approach to treating obesity (患者に焦点をあてた肥満治療へのアプローチ) (2)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第4回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表) (1)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第5回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表) (2)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第6回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (「2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表」) (3)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第7回	Nutraceutical Effects of Fucoxanthin for Obesity and Diabetes Therapy: A Review' - Abstract (「肥満と糖尿病におけるフコキサンチンの機能性食品の効果：レビュー」抄録) (1) 小テスト	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第8回	Nutraceutical Effects of Fucoxanthin for Obesity and Diabetes Therapy: A Review' - Abstract (「肥満と糖尿病におけるフコキサンチンの機能性食品の効果：レビュー」抄録) (2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第9回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」) (1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第10回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」) (2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分

第11回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、最終試験に備えて、第8～15回の授業で読んだすべての論文の抄録の復習を行う。	15分
第12回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、最終試験に備えて、第8～15回の授業で読んだすべての論文の抄録の復習を行う。	15分
第13回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」抄録)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第14回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第15回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」)(3)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分

授業科目名	健康科学文献講読			科目コード	A317-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	中山 耕造					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	外国語文献講読I		後継科目	栄養学特論III、臨床栄養学特論I、特別研究					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食物栄養学分野を中心に、科学に関連する英語文献の輪読を行う。 輪読では、まず文献の概要を学び、その後和訳を行う。								
学習目標	英語に対して、不得意感や抵抗感をなくす。 将来必要になる、英語文献の読解力を身につける。 科学分野の英語文献を読んで、概要を把握できるようになる。								
キーワード	英語、英語文献、和訳								
テキスト・ 参考書等	適宜、プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	英文文献を、和訳することができる。								
LO-2	科学分野の英文文献を読んで、内容を理解することができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30						100	
LO-1	35	15						50	
LO-2	35	15						50	
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	筆記試験で、成績を判定する。 答案は、採点して返却する。 講義中に適宜、ピア・インストラクションを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	英語文献の輪読(1) 1) 授業の進め方を説明した後、2週目以降の担当箇所を決定。 2) 教員が、英語文献の概要を説明。	
	【予習】英字新聞やテレビのバイリンガルbilingual(副音声)等を日頃から見聞して英語のヒアリングに慣れておいてください。	120分
	【復習】次週以降の担当する英文の和訳	120分
第2回	英語文献の輪読(2) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第3回	英語文献の輪読(3) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第4回	英語文献の輪読(4) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第5回	英語文献の輪読(5) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第6回	英語文献の輪読(6) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第7回	英語文献の輪読(7) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第8回	英語文献の輪読(8) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第9回	英語文献の輪読(9) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第10回	英語文献の輪読(10) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分

第11回	英語文献の輪読(11) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第12回	英語文献の輪読(12) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第13回	英語文献の輪読(13) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第14回	英語文献の輪読(14) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分
第15回	英語文献の輪読(15) 教員が、英語文献の概要を説明。 担当箇所の和訳	
	【予習】英語文献の、概要をまとめる。	120分
	【復習】英語文献の和訳	120分